



AAMT

The Asia-Pacific Association for Machine Translation

Journal

No.27
August 1999

アジア太平洋機械翻訳協会

目 次

エッセイ	MT 白書への期待	1
総会報告	第 9 回通常総会および関連行事の報告	3
MT Summit	MT Summit VII 参加のご案内	4
	MT SUMMIT VII “MT in the Great Translation Era”	6
留学生雑感	「機械翻訳に期待すること」	10
新製品紹介	・ ATLAS V 6	14
	・ The 翻訳インターネット	17
	・ 「PowerE/J 翻訳これ一本！Ver.4.0」	19
	・ 「PowerE/J 翻訳プラス辞書これ一本！Ver.4.0」	22
	・ 「CROSSROAD Ver3.0」	22
事務局だより	役員の紹介	24
	協会活動報告	25

MT白書への期待

山形大学工学部 教授 横山晶一

かなり回復のきざしが見えてきたとはいいいながら、相変わらず景気の先行きは不透明である。また、世の中全体に何となく元気がない。機械翻訳の分野でも、ある会社では、機械翻訳から完全に撤退し、「かつての翻訳実験システムが研究室の隅ではこりをかぶっていて、動かしてみても本当に動くかどうか分からない」などという話が聞こえてくる。また、会社が機械翻訳の研究をやめたので、今は別の仕事をしているとか、あるいは、かつて機械翻訳をはなばなしく行っていた場所に、工場が建ったので追い出されて、今は狭いところで細々と研究を続けているなどというのを聞くと、ここは、バブルはなやかなりし頃、「研究立国」や「基礎研究の重要性」が声高に叫ばれていた同じ国かと疑ってしまう。

日本がこのような状態であっても、世界はそれに関係なく動いている。特に、インターネットに代表されるネットワークの著しい普及は、世の中のシステムを根本から変える要因をたくさん含んでいる。

インターネットに接続すると、一瞬にして、地球規模の情報の流れの中に身を投じることになる。そこに流れている膨大な情報（多くは役に立たないといわれるが、それでもこれだけ巨大なネットワーク上なら、かなりの量の有用な情報が流れているはずである）をどのようにして的確に捕まえるか、逆に言えば、無用な情報をどれだけ見ないで済ませるかが、ネットワーク世界で活躍しようとする者の必須要件になっているといっても過言ではない。

このような情報はほとんどが世界共通語である英語で流れている、だから英語をもっと学ぶべきであるというのは、ある意味で当然な提言である。しかしながら、このことからすぐに短絡的に、日本人は英語での議論が下手（実は日本語でも議論は下手であるが、訓練を受けていないので当然である）だから、国として英語を公用語にしようとか、英語を幼

いうちから学ばせるために、日本で英語を公用語にすべきである、などという意見が出てくるのは、いささか乱暴に過ぎる。これらの意見は、このような情報の巨大な流れを前にしての、パニック的な受け止め方の一つかも知れない。

こういう意見にきちんと反論するためには、有用な情報は、本当に英語でしか得られないのか、本当に情報の流れの中は英語で満ちているのかなどということを押える必要がある。また、機械翻訳に支援を求めることによって、英語にそれほど習熟していなくても必要な情報が得られるのだということ言うためには、世の中にインターネット用の機械翻訳ソフトでこのようなものがこのくらい出ているという、客観的なデータがなければならない。もちろんそれらのソフトの性能がどの程度のものであるかも含めたデータが必要である。

機械翻訳の解説書や、AAMT ジャーナルにしばしば載せられているように、市販の機械翻訳システムの一覧表、あるいは個別のシステムの紹介といったものはこれまでも存在していた。しかしながら、上のような客観的なデータを積み上げて、たとえば、インターネット上には、確かに英語の情報が、他国との橋渡しとして流れてはいるが、実は本当に有用な情報は、それぞれの国の人々が、それぞれ自国の言語で書いている部分に存在するから、多国語の機械翻訳システムを開発すればよい、と言えるような状態には、残念ながらまだなっていない。もしこれらのデータが示されていれば、上のような議論に真向から反論できる。

先日の総会で、技術動向調査委員会の亀井真一郎氏の述べた「二重言語」構造は、ネットワーク上での英語の使用状況について、まさに一つの見解を示しているものといえる。すなわち、多くのホームページは、英語と自国語の2言語で開設されているが、

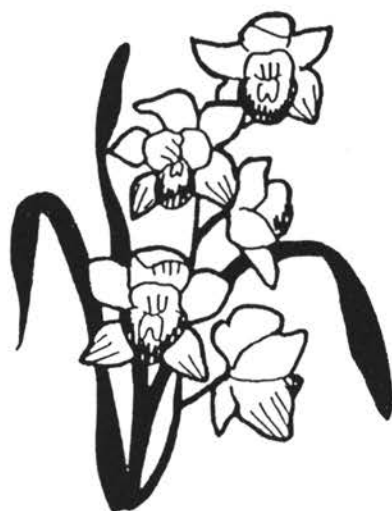
英語のものは簡単で、余り更新されない。しかし、
自国語のものは、頻繁に更新されて内容も詳細であ
る。なお、私の気づいたことであるが、英語の版の
表紙をクリックすると、自然に自国語の版にリンク
してしまうようになっているホームページも多いよ
うである。

多国語の機械翻訳システムの開発は、上のような、
情報を取得する面、すなわち受信面だけでなく、発
信面でも有効である。たとえば、自分の発信したい
情報の一部を共通語（というより上に書いたように
橋渡し言語）である英語に訳して世界に向けて発信
し、詳しい情報の欲しい人には、日本語から母国語
への機械翻訳システムを通じて見てもらうのである。
ネットワーク上での情報交換の巨大化に伴って、恐
らくは、今まで採算がとれなかった言語間の機械翻

訳システムも採算に合うようになると考えられる。

また、これとは別の話であるが、これまでなか
か実現できなかった、ローマンアルファベット以外
の種々の文字体系の混在（たとえば日本語と中国語
の簡体字の混在など）も進みつつある。これらの表
示の多様性が実現されることによって、ますます多
国語によるコミュニケーションが盛んになるものと
考えられる。

これらの主張を補強し、データをきちんと示すた
めには、まず機械翻訳システムの現状をあらゆる面
から捉え、さらに将来のシステムのあるべき姿を的
確に描いた reference book が必要になってくる。現
在 AAMT の WG で進められている MT 白書に期待
する所以である。



第9回通常総会および関連行事の報告

アジア太平洋機械翻訳協会の第9回通常総会が、6月18日(金)13時30分から東京都港区芝公園の機械振興会館6階・6—67会議室で開催された。

本年も通常総会のあと、委員会研究会の1年間の成果報告会、ならびにシンガポール政府観光局の講演会が開催され、個人会員、法人会員あわせて合計35名の参加があった。

[行事の全体プログラム]

行 事	内 容	時 間
第9回通常総会	第1号議案 '98年度事業報告 第2号議案 '98年度決算報告 第3号議案 '99年度事業計画 第4号議案 '99年度予算 第5号議案 理事交替	13:30～14:15
成 果 報 告 会	1. 技術動向調査委員会 報告 2. 市場動向調査委員会 報告 3. ネットワーク翻訳研究会 報告 4. MT Summit VII プログラム委員会報告	14:30～16:00
講 演 会	「最新シンガポールの紹介」 シンガポール政府観光局 森田勝則氏	16:00～17:00

[通常総会]

雨宮運営委員長の司会で定刻どおり開会し、出席90名(本人または代理人出席24、委任状66)で本総会の成立が報告された。田中会長の挨拶と議長就任、議事録署名人の選出のあと、上記の5件の議案が審議され、いずれも可決承認となった。

また、第5号議案は、理事14名のうち松香茂道氏が退任し、後任として小高俊彦氏が選任されたものである。

このあと、来賓の通産省機械情報産業局電子機器課長補佐和泉章氏から祝辞があり、14時15分に終了した。なお、1999年3月末時点でのAAMTの会員数は法人会員31社、個人会員152名である。

[成果報告会]

1998年度1年間の活動成果が、技術動向調査委員会・亀井真一郎委員長代行、市場動向調査委員会・坂本義行委員長、ネットワーク翻訳研究会・横山晶一座長から各々資料にもとづいて報告された。

また、本年9月にシンガポールで開催されるMT Summit VIIにつき、辻井潤一プログラム委員長から説明があった。

[講演会]

「最新シンガポールの紹介」と題して、シンガポール政府観光局、森田勝則氏からスライドや豊富なパンフレットによりていねいなガイダンスがあった。

MT Summit VII参加のご案内

アジア太平洋機械翻訳協会

会長 田中穂積

アジア太平洋機械翻訳協会（AAMT）は、この9月に第7回機械翻訳国際会議「MT Summit VII」をシンガポールで開催いたします。

日本が提唱して始まった「MT Summit」は、1987年9月に箱根で第1回会議を開催したあと、2年ごとにアジア太平洋地域、ヨーロッパ、アメリカの順で開かれ、グローバルな機械翻訳の発展と交流に大きな成果をあげて参りました。

今回の会議は、多くの論文応募があり、また多くの最先端の講師を招待することができ、かなり質の高いプログラムが編成できたと自負しております。

このたび、皆様をお迎えする準備も整いましたので、ぜひご参加いただき一緒に議論していただきますようここにご案内申し上げます。

記

1. 会議の名称 MT Summit VII (第7回機械翻訳国際会議)

- ## 2. 主催および後援等

主催： アジア太平洋機械翻訳協会

後援： 通商産業省

協力： 社団法人 日本電子工業振興協会

財団法人 国際情報化協力センター

協賛： 社団法人 日本翻訳連盟、社団法人日本翻訳協会、

社団法人 情報処理学会、社団法人電子情報通信学会

社団法人 人工知能学会、財団法人日本情報処理開発協会

言語処理学会、テクニカルコミュニケーター協会

3. 開催期間 1999年9月13日(月)～17日(金)の5日間

9月13日 (月) Tutorials

14日 (火) Conference, Exhibition, Reception

15日 (水) “ “ , Banquet

16日 (木) “ “

17日 (金) Workshop

4. 会場 シンガポール国立大学内 Kent Ridge Digital Labs

- ## 5. プログラム

8、9 ページに掲載いたしました。

詳しくは次のホームページをご覧ください。

- (1) プログラム関係：http://www.jeida.or.jp/aamt/mts_99.html

- (2) シンガポールのローカルインフォメーション関係：<http://www.krdl.org.sg/mts/99/>
(3) 参加申込関係：<http://www.krdl.org.sg/mts/99/register.htm>

6. 参加申込みのご案内

参加の受付は、シンガポールサイド（Local Organizing Committee）が担当しますので、そちらに直接申し込んでください。

申込締切日は、8月20日（金）といたします。

- (1) 登録費用は次のとおりです。シンガポールドルですので、1 S\$ = 約75円で計算してください。

①会議登録料	一般	S\$ 380	学生	S\$ 200
②チュートリアル		S\$ 150		
③ワークショップ		S\$ 50		
④バンケット		S\$ 50		

- (2) シンガポールのホテル

シンガポールサイドから二つのホテルを紹介いたしておりますので、ご利用ください。

- | | |
|-------------|--------------------|
| ①ガーデンホテル | (Garden Hotel) |
| ②コプソーンオーキッド | (Copthorne Orchid) |

- (3) AAMT のパッケージ・ツアー企画

会員の皆様が参加しやすいように、JTB とタイアップしてパッケージ・ツアーを企画いたしました。エコノミークラスならば登録料を含めても20万円以内で納まるよう努力しましたので、ぜひご利用ください。

- ①名称： MT Summit VII 調査団

- ②日程： 9月12日（日）12：00成田発
9月18日（土）7：00成田着

- ③費用： 5泊7日の航空券、ホテル代で
エコノミークラス 154,000円
ビジネスクラス 298,000円

- ④登録料は含まれておりませんので、直接シンガポールサイドに支払うか、もしくは、JTB に代行依頼をしてお支払いください。

注）なお、シンガポールは入国時に6ヶ月以上のパスポート残存期間が必要ですのでご注意ください。

7. 連絡、問合せ先

- (1) シンガポールローカルアレンジメント・コミッティ（Vicky Chen）

Eメール：vicky@krdl.org.sg
TEL：65-874-2003

- (2) 株式会社インターグループ（山畑、菅原）

Eメール：secret-4@tokyo.intergroup.co.jp
TEL：03-3479-5311

- (3) AAMT 事務局（村田、中島、高田）

Eメール：aamt0001@infotokyo.ne.jp
TEL：03-5473-7135
ホームページ：<http://www.jeida.or.jp/aamt/>

MACHINE TRANSLATION SUMMIT VII "MT in the Great Translation Era"

September 13–17, 1999, Singapore

The seventh Machine Translation Summit, organized by the Asia–Pacific Association for Machine Translation(AAMT), will be held at Kent Ridge Digital Labs on the campus of National University of Singapore from 13 to 17 September 1999. AAMT invites all who are interested in any aspect of machine translation – researchers, developers, providers, users, and watchers – to participate in the conference.

The schedule of MT Summit VII is outlined as follows :

Monday,13 September :	Tutorials		
Tuesday,14 September :	Main conference	Exhibition	Reception
Wednesday,15 September :	Main conference	Exhibition	Banquet
Thursday,16 September :	Main conference	Exhibition	
Friday,17 September :	Workshop		

To register, please get "registration form" from

[http : //www.krdl.org.sg/mts 99/register.htm](http://www.krdl.org.sg/mts 99/register.htm)

and send it to the secretariat of MT Summit whose address is on the top of the form.

Please consult the website for further information :

full program for the main conference, and workshop,

[http : //www.jeida.or.jp/aamt/mts 99.html](http://www.jeida.or.jp/aamt/mts 99.html)

venue and local information, registration and hotel accommodation,

[http : //www.krdl.org.sg/mts 99/](http://www.krdl.org.sg/mts 99/)

By e-mail, please contact :

secret-4@tokyo.intergroup.co.jp(Japan)

vicky@krdl.org.sg(Singapore)

We hope to see you there!

Hozumi Tanaka, President of AAMT

Jun'ichi Tsujii, Chair of Program Committee

Low Hwee Boon, Chair of Local Organization Committee

The History of MT Summit

	Organizer/Conference Site	Date	Participants
1 st	AAMT/Hakone, Japan	Sept. 17-19, 1987	200
2 nd	EAMT/Munich, Germany	Aug. 16-18, 1989	284
3 rd	AMTA/Washington, U. S.A.	July 1-4, 1991	310
4 th	AAMT/Kobe, Japan	July 19-22, 1993	230
5 th	EAMT/Hemicycle, Luxembourg	July 10-13, 1995	350
6 th	AMTA/San Diego, U. S. A.	Oct. 29-Nov. 1, 1997	320
7 th	AAMT/Singapore	Sept. 13-17, 1999	???



MACHINE TRANSLATION SUMMIT VII

"MT in the Great Translation Era"

September 13–17, 1999, Singapore

Timetable

September 13 (Monday)				
Tutorials				
September 14 (Tuesday)				
	Auditorium	Room-B	Room-C	Gallery
9:00	PL1: Opening session			
11:00	Keynote speech			
11:10	I1: Invited talk			
12:10	(Prof. Martin Kay)			
				Lunch
13:30	S1: Controlled Language	G1: MT methodologies		PS1: Poster session (1)
14:30				– 4 topical notes
14:40	S2: Localization	G2: Example-based MT	Scheduled demos by exhibitors	– 5 system reports
15:40				Coffee Break
16:00	PN1: International co-operation – From funding agencies' point of view	G3: Multilingual human language technologies		
17:30				
Reception				
				Exhibition

September 15 (Wednesday)					
	Auditorium	Room-B	Room-C	Gallery	
9:00 10:00	S3: MT in each area	G4: MT evaluation	G5: Multilingual information processing	PS2: Poster session (2) - 6 topical notes - 4 user studies	Exhibition
10:10 11:10		G6: Translation tools	D1:C-Star demo		
11:20 12:20	I2: Invited talk (Prof. Toru Nishigaki)				
				Lunch	Exhibition
13:40 15:10	S4: MT and speech	G7: Language resources	G8: System presentation (1)	Coffee Break	
15:30 17:00	PN2: MT evaluation	G9: Knowledge extraction	D2: Language resources demo		
Banquet					
September 16 (Thursday)					
	Auditorium	Room-B	Room-C	Gallery	
9:00 10:30	S5: MT from the research perspective	G10: Statistical methods	G11: System presentation (2)	PS3: Poster session (3) - 5 topical notes - 5 system reports	Exhibition
10:40 11:40	S6: Views from users	S7: Multilingual information access	G12: Asian language processing		
11:50 12:20	PL2: IAMT session				
				Lunch	
13:40 14:40	I3: Invited talk (Dr. Jo Lernout)				
14:50 16:30	S8: MT for the next century				
16:30 16:50	PL3: Closing session				
September 17 (Friday)					
Workshop on Machine Translation for Cross Language Information Retrieval					

「機械翻訳に期待すること」

東京外国語大学、文部省国費研究生 Danny Minn

略歴

氏名： Danny Minn (ダニー・ミン) 1970年
生れ
出身： アメリカ・オレゴン州・ポートランド市
国籍： アメリカ
経歴： 青山学院大学国際政治経済学部にて交換
留学後
ポートランド州立大学国際関係学部卒業
ドレーク・ビーム・モーリン社勤務
現在、文部省国費研究生として東京外国
語大学に在籍、AAMT 会員

自己紹介と研究テーマ

私は不思議なアメリカ人です。なぜか。それはきっとほとんどの日本人にとってアメリカ人という言葉聞いた時の第一印象は白人だからです。私は沖縄米軍基地生まれの韓国系アメリカ人です。父は翻訳者としてアメリカの政府に勤めていました。7歳まで沖縄で育ちましたが、アメリカの学校へ通ってました。つまり、日本語の勉強はしてなかったのですが、日本の文化には触れることができたように思います。特に、今も日本のテレビ番組や食べ物をよく覚えています。父は私に英語を中心に学んで欲しいと考えていましたから、韓国語も勉強しませんでした。だから、もっと詳しく言えば私は韓国語の話せない、日本語ならまあまあ話せる沖縄米軍基地生まれの韓国系アメリカ人です。

沖縄からアメリカのオレゴン州に引っ越してから16年間、一生懸命にアメリカの文化に同化するよう頑張りました。オレゴン州のポートランド州立大学に入って国際関係学部を選んだから、世界の時事と歴史に興味を持つようになりました。特に、韓国や日本、東アジアにひきつけられました。結局私はアメリカ国籍を取得しても精神的に物足りませんでした。世界を探検したかったのです。

1994年に日本へやっと思ってきて、青山学院大学の国際政治経済学部で1年間の交換留学をすることができました。もちろんすばらしい経験でしたが、日本語が一年間でペラペラになれる訳はありません。1995年にポートランド州立大学の国際関係学部を卒業してからもずっと日本語の勉強を続けたくて日本に戻りたいと思っていました。そして去年の10月、私の夢が現実になりました。現在は東京外国語大学で文部省国費研究生として日本語の勉強をしています。日本語の勉強をしながら国際コミュニケーションにおける新しい多言語ソフトウェアの及ぼす効果を研究したいと考えています。

この研究テーマを選んだ理由は自分の大学での経験、職業経験に基づいています。例えば、幸運なことに日本、シンガポール、韓国、香港、中国の雲南省、タイ、マレーシア、およびヨーロッパの十ヶ国を含む多くの国に旅行することができたということがあります。このことで、異文化を理解することがある程度身に付き、また国際コミュニケーションにひかれるようになったのです。またポートランド州立大学と青山学院大学では日本の言語と文化、国際政治、歴史、異文化コミュニケーションを含む国際関係学を専攻しました。家庭においても、仕事場においても、私は頻繁にコンピュータを使っており、今やコンピュータは私の生活において、欠かせない道具になりました。私はテクノロジーの発展とその社会に及ぼす効果に非常に興味があります。これらの点と私の家族のバックグラウンドを考えるとわりと自然にこの研究テーマが頭に浮かびました。

勉強計画

人間の言葉を翻訳するソフトウェアはまだ完全なものからはほど遠いし、おそらく人間による翻訳に完全に取って代わることはないでしょう。しかし、機械翻訳ソフトウェアの技術は急速に進歩しているので、個人や企業、政府にとって貴重なものになります。もうすでに多くの翻訳ソフトウェアが存在

しています。現在のテクノロジーを使って、ワープロで書かれた書類や電子メール、ウェブページ等を簡単に翻訳することができ、驚くほどよい結果が出ています。コンピュータとソフトウェア・テクノロジーは急速に進化しており、翻訳ソフトウェアも同様であることは明かです。さらには、「ある分析者は、翻訳ソフトウェア市場は1995年の二億ドルから2000年には十五億ドルに達すると言ってます。もっとも大きな成長は日本語の翻訳に見られるだろうと人々は期待しています。」(Computerworld, 1995年10月23日、p.81)

これが事実であるならば、深く研究するに値すると思われます。私は翻訳ソフトウェアは国際コミュニケーションに大きなインパクトを及ぼすと考えています。しかし疑問点もいくつかあります。そのソフトウェアは文字通りの意味と比喩的意味の違いを認識できるのでしょうか。コミュニケーションにおける誤解はおきかないのでしょうか。そのソフトウェアが信頼できるものになれば、人々が外国語を学ぶことを止めてしまうのではないのでしょうか。人間の相互作用に幾分でも影響を与えるようになるのでしょうか。これらの疑問点に答えるために、私は以下のことをするつもりです。

1. さまざまなソフトウェア・プログラムを試すことができる程度に、自分の日本語能力を高めます。
2. 世界の翻訳ソフトウェアの現在の状況を研究し、後に日本語と英語のソフトウェアに焦点を当てて研究します。
3. 現在の翻訳ソフトウェア・ユーザーにインタビューし、調査します。
4. 翻訳ソフトウェアに関する利点と問題点を推論します。
5. 国際コミュニケーションにおける翻訳ソフトウェアの及ぼす効果をレポートします。
6. 翻訳ソフトウェアの将来の動向とその効果を予想します。

その他、将来の動向の一つとして音声認識ソフトウェアとの関係が挙げられるでしょう。現在音声認識ソフトウェアは翻訳ソフトウェアより進歩しています。95%の正確さで英語の単語を認識し、綴る事

ができる製品を開発したというソフトウェア会社はいくつもあります。普通のペースで自然に話された言葉をも認識できるとも言われています。翻訳ソフトウェアが音声認識ソフトウェアに追い付いたときにこれらの二つが結合すれば、強力な道具になることでしょう。そしてその可能性は無限大になります。いつの日か日本人とアメリカ人がこのような同時通訳ソフトウェアの助けを借りて、お互いの言葉を話さずに話すことができるようになるかも知れません。

「10年後には、テーブルの上に小型機器を一つ置くだけで、外国人と自由に会話できるようになります」。国とNTTや松下電器産業など約七十社が出資する国際電気通信基礎技術研究所(京都府)。その傘下のATR 音声翻訳通信研究所社長の山本誠一はこう予測する。

同社が昨年、開発した日英双方向音声翻訳システムは、言いよどみやくだけた表現が交じる日常会話を、話し手に最も近い音声モデルを選んで翻訳する。日本語を英独中韓の各国語に変換する多言語音声翻訳システムもほぼ完成。(日本経済新聞、1999年5月28日)

今のところ、早いですが私はまだ先の勉強計画のステップ・ワンにいます。私の一番大きな障害はもちろん日本語です。日本語で話すときはあまり問題がありませんが、やはり読み書きは非常に難しいです。書道なら漢字はとても楽しいと思いますが、数万漢字を記憶するのは精神病になるほど大変です。今年私の目的は精神病を避けながら、研究のために大切な本、新聞、雑誌、ウェブ・ページ等を読める程度日本語能力を改善したいです。その次のステップは大学院に入学することです。今年の秋色々な日本国立大学院の入学試験を受ける予定です。

英語普及現象

グローバリゼーションは現在流行している経済界の言葉です。貿易に大きく影響するほかに、グローバリゼーションにはもう一つの大きな効果があります。言語学的に言うグローバリゼーションとは事実上英語が世界中に普及することを意味します。実際英語は国際的に貿易、経済、政治、インターネット等の共通語になっています。これは世界の多くの

人々、特に英語を話せない人々に不安や不快感を与えています。

英語のグローバリゼーションについて私は矛盾を感じています。例えば、海外旅行の際サインが私の母国語の英語で書かれている場合、もちろん私にとってはとても便利です。しかし、英語を話せなくて不便を感じる人々が実は世界では大多数です。これは不公平だと思っています。

言うまでもなく、日本は英語のグローバリゼーションが顕著に見られる国です。多くの日本人は英語の普及と英語の日本語への侵入現象について問題視しています。「岩波書店の『広辞苑』は昨年の改訂で加えた1万語のうち、3,500語がカタカナ語」(日本経済新聞、1999年5月28日)。このペースで続いたら私は漢字の勉強を止めてもいいかも知れないと思わせる事実です(!)。しかし、残念ながら、新しいカタカナ語すべてが元々ある漢字に取って代わるという訳ではなく、日本語において漢字がそう簡単になくならないのも一方の事実です。私は漢字の勉強に苦戦しながらももちろん漢字の重要性、文化的意義を強く感じています。

英語とインターネット

(以下は Lebert, Marie-France 作のウェブサイト、「Multilingualism on the Web」中の内容を参考にしています。)

英語という言語が最大に影響している場所はインターネットだと言えます。最初からインターネットの主要な言語は英語ですし、今もその通りですが、これから他の言語の使用がだんだん増えてきます。今は英語が圧倒的な有利にあるインターネットの言語割合も、遅かれ早かれ、世界の言語割合と比例します。その上、将来すべての世界の言語翻訳ソフトウェアを使ってウェブサイト等を無料で即時に翻訳できるようになります。とはいっても、このような多言語化の実現にはまだ相当の研究が必要です。

1997年に“Babel”(Alis Technologies と The Internet Society のジョイント・ベンチャー) はインターネットの言語割合について世界初の大きな調査を行いました。以下の結果は1997年6月の“Web Languages

Hit Parade”に発表されたものです。

言 語	使 用 率
英語	82.3%
ドイツ語	4.0%
日本語	1.6%
フランス語	1.5%
スペイン語	1.1%
スウェーデン語	1.1%
イタリア語	1.0%

今年新しく登場する非英語のウェブサイトは英語のものより多くなるとわれています。まさに「ワールド・ワイド・ウェブ」という言葉は実現されるわけです。“Global Reach”によると新規インターネット使用者の中で最も数が増加している人々は非英語使用者です。

新ウェブ・ユーザー	割 合
スペイン語	22.4%
日本語	12.3%
ドイツ語	14.0%
フランス語	10.0%

非英語の言語を母国語とするウェブ・ユーザーは概算して約5,570万人とされています。その上、母国語として英語を話す人々は世界人口の6%足らずです。(ちなみにスペイン語の場合は16%)。ウェブページの80%は英語で書かれているにもかかわらず、世界の92%の人々は英語を話さないということです! ワールド・ワイド・ウェブが世界中に普及するに従って、英語ウェブサイトの制作者はますます英語使用者の少なさと国際化の重要さに気づくことでしょう (Stone, Martha L., ZD Network News)。

1997年12月に始まった、“AltaVista Translation”というウェブサイトは、一般のインターネット使用者が英語のウェブページをフランス語、ドイツ語、イタリア語やポルトガル語に、またはその逆に翻訳できるソフトウェアです。このサービスは一応翻訳するというだけで、やはり完全ではありません。ある程度は役に立つかもしれませんが、その分野や専門に詳しい人間の翻訳者にはもちろんかないません。

このような翻訳ソフトウェアが改善するのを待つ間に、とりあえずウェブサイト制作者がウェブサイトが多言語にすることを望みます。多言語のウェブサイトは1ヶ国語のものより多くの検索者を生み、インターネットの国際コミュニケーションに貢献するはずで

おわりに

まだ日本語学習中心の研究の初期段階にいる私にとって、今後本格的な研究を深めるのはとても待ち遠しいことです。研究者、メーカー、ユーザー達のために良い情報交流機会を作っているAAMTは私の研究のためになくてはならない存在です。AAMT事務局には大変お世話になり、深く感謝しております。これからもよろしくお願い申し上げます。

私はシンガポールでこの9月に開催される「機械翻訳サミットⅦ」に参加する予定です。自分の研究を深めるため様々なアイデアに触れるのを楽しみにしています。私は1997年に3ヶ月間シンガポールに住みました。滞在中、シンガポールがグローバルゼーションと英語普及現象をほぼ実現した模範的な国であることを強く感じました。異なる文化から来た

国民はそれぞれ中国語、マレー語、ヒンドゥー語、タミル語等を話すため、道具として英語が共通語になっています。主に政府の対策で国民は比較的平和的に一緒に住んでいます。また、東南アジアで抜群の経済的成功を修め、ハイテクも進んでいます。多言語ソフトウェアやインターネットが発展するのは当然の国家だといえるでしょう。

シンガポールで皆様とお会いするのを楽しみにしております。

参照ウェブサイト

Multilingualism on the Web, <http://www.ceveil.qc.ca/multieng/0.htm#home>

Babel, <http://www.isoc.org:8080/>

Alis Technologies, <http://www.alis.com/>

The Internet Society, <http://www.isoc.org/>

Web Languages Hit Parade, <http://www.isoc.org:8080/palmares.en.html> Global Reach, <http://www.euromktg.com/eng/GR/>

ZD Network News, <http://www.zdnet.com/zdnn/3/index/>

AltaVista Translation, <http://babelfish.altavista.com/cgi-bin/translate?>



英日・日英翻訳ソフト ATLAS V6

富士通株式会社

1. はじめに

発売以来好評をいただいております英日・日英翻訳ソフト「ATLAS」を、この度V6にバージョンアップいたしました。

新製品の「ATLAS V6」は、今までの機能に、Microsoft Office 文書を画面から翻訳する「MS-Office 連携」、英文ホームページをレイアウトをそのまま翻訳する「ホームページ翻訳」などが加わり、さらに使いやすい翻訳支援ツールに進化いたしました。

2. 機能

2. 1 業界最高水準の翻訳品質

ATLAS は、意味理解に基づいたルール方式と、対訳例を参照するコーパス方式の2つの方法で翻訳を行なっています。

・基本用語追加

時事用語、固有名詞などを3万語追加し、基本辞書の語数が従来の20万語から23万語になりました。最新のニュース記事も適切に訳します。

・基本訳例追加

基本訳例も3万文追加し、従来の2万文から5万文になりました。一層、柔軟な表現での翻訳が可能となりました。ユーザ独自の訳例も登録できます。

2. 2 一括翻訳でMS-Office 文書が翻訳可能

テキスト・OASYS 文書だけでなく、MS-Office 文書（Word, Excel, PowerPoint）やRTF 文書もファイル名を指定するだけで一度に翻訳できるようになりました。



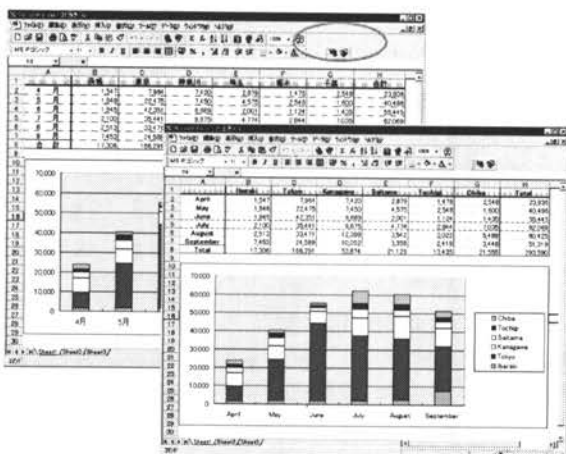
一括翻訳画面

2. 3 MS-Office 連携

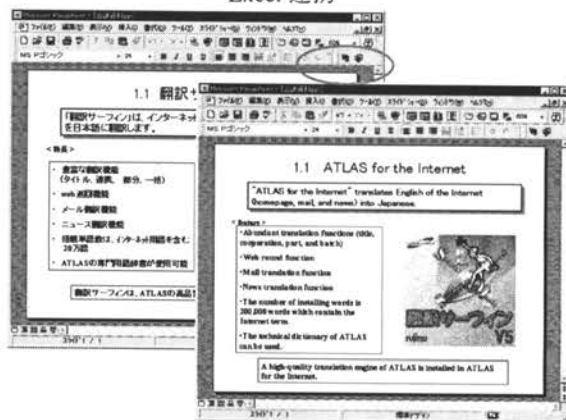
従来の Word に加えて、Excel、PowerPoint のツールバーからも ATLAS の機能が利用できるようになりました。もちろん、MS-Office2000にも対応しています。



Word 連携



Excel 連携



PowerPoint 連携

2. 4 ページ翻訳(ATLAS EJ, ダブルバックのみ)

Netscape Navigator または Internet Explorer のブラウザに表示される英文ホームページを、レイアウトをそのままに日本語に翻訳します。



ホームページ翻訳

2. 5 さらに充実の対訳エディタ

独自のエディット画面により、文書の入力、翻訳、修正、訳語選択、学習、保存、印刷を行なうことができます。原文と訳文を対比しながら、対訳形式で翻訳ができます。V6 では以下の機能を追加しました。

・訳文ロック

翻訳後または後編集後、確定した訳文にロックをかけられるようになりました。

・訳例適用の表示

訳例が適用された訳文は、赤字で表示されるようになりました。

・オートセーブ

一定時間毎に編集内容をメモリに自動保存し、不慮の事故で対訳エディタが終了してしまっても元通りに戻すことができるようになりました。

番号	原文	訳文
1	What is Welcome to the White House?	ホワイトハウスの歓迎は何であるか?
2	Welcome to the White House is a key access point to government information that is available on the Internet.	ホワイトハウスの歓迎はインターネットで利用可能な政府情報への主要なアクセスポイントである。
3	Using a service on the Internet called the World Wide Web (WWW), people all over the world can locate documents that not only contain text but also include graphics, photos, sound, and video.	世界中に World Wide Web (WWW)、人々と呼ばれたインターネットでサービスを利用すると、テキストを含むだけでなく、グラフィックスをも含むドキュメント、写真、音、およびビデオの場所を見つけることができる。
4	Welcome to the White House was developed to improve the way the federal government uses the Internet to communicate and interact with the American people.	ホワイトハウスの歓迎は、連邦政府の政府がアメリカ人の人々を従えて、対話するのにインターネットを使用する方法を改善するために開発された。
5	This site provides access to all the government information and services that are available on the Internet.	このサイトはすべてのインターネットで利用可能な政府情報とサービスへのアクセスを提供する。
This site provides the government information available on the Internet.		このサイトは政府情報とサービスへのアクセスを提供する。

対訳エディタ

2. 6 専門用語辞書

従来の専門用語辞書24分野すべてに新語を120～1,800語登録しました。

新規に「環境用語辞書」(1,500語) が加わり、全25分野になりました。

専門用語辞書フリーバックでは、25分野の辞書をまとめて一度にインストールできます。

3. 専門用語辞書一覧

1. 情報処理	102,000語
2. 電気・電子	33,000語
3. 物理・原子力	57,000語
4. 機械	57,000語
5. 工業化学	63,000語
6. プラント	53,000語
7. 土木・建築	33,000語
8. 金属	14,000語
9. 地学・天文	31,000語
10. 輸送	37,000語
11. 自動車	33,000語
12. 軍事	24,000語
13. 農林水産	23,000語
14. 生物	22,000語
15. [医学] 生化学	50,000語
16. [医学] 薬学	24,000語
17. [医学] 解剖学	51,000語
18. [医学] 疾患・症状	124,000語
19. [医学] 精神医学	28,000語
20. [医学] 医療機器	51,000語
21. 金融・経済	37,000語
22. 法律	7,000語
23. ビジネス	120,000語
24. 人名・地名	172,000語
25. 環境	1,500語

4. 動作環境

動作 OS : Windows98, 95, または Windows NT4.0

ディスク容量 : 78MB 以上 (EJ と JE は、74MB)

必要メモリ : 32MB 以上 (OS 含む)

価格 (税別) :

ATLAS EJ V 6 58,000円

ATLAS JE V 6 58,000円

ATLAS 翻訳ダブルバック V 6 88,000円

ATLAS 専門用語辞書

シングル V 6 28,000円

フリーバック V 6 78,000円

お問い合わせ先

富士通株式会社

システム販売推進統括部第三販売推進部

〒100-8211 東京都千代田区丸の内1-6-1

(丸の内センタービル)

TEL : 03-3216-7983

受付時間 : 月～金 (祝日除く)

9 : 00～12 : 00 / 13 : 00～17 : 00

URL : <http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/>

softinfo/pr/ATLAS/



ホームページのななめ読みができる翻訳ソフト The 翻訳インターネット

株式会社 東芝

1. はじめに

東芝は、インターネット用英日／日英翻訳ソフトウェアの新製品として、ホームページの要点を自動的に別ウィンドウに表示することで、見たいページの内容を簡単に把握することができる「The 翻訳インターネット V4.0」を商品化しました。

新製品は、ホームページ、メールやニュースの翻訳といった基本機能に加え、日本語が分からない人と英語が分からない人との間でも、インターネット上でメッセージのやり取りが簡単にできるチャット翻訳機能を搭載しています。更に、かな漢字変換のように日本語を入力しながら英語に翻訳できる翻訳入力機能を備え、ユーザの用途に合ったツールへの翻訳結果の入力ができます。

また、テキスト形式やHTML形式、RTF形式データばかりでなく、最新データ形式であるXML、PDF形式にも対応しています。

2. 機能のご紹介

(1) ななめ読み翻訳

ホームページの要点となる文章や単語を自動的にななめ読みウィンドウに表示します。このななめ読

みウィンドウを読むことで、ページの要点を簡単に把握することができます。ななめ読みウィンドウの項目をクリックすれば本文を呼び出すことができます。

(2) チャット翻訳

インターネット上の会話ツールであるチャットに翻訳をビルトインすることにより、日本語が分からない人と英語が分からない人との間でもリアルタイムにチャットができます。

(3) 対訳ビューワ

キー入力した文やファイルに保存されている文書を翻訳する際、画面の左右に原文と訳文を表示できる対訳ビューワを備えています。対訳ビューワではワンタッチでメールの内容を取り込んで翻訳することもできます。

(4) 翻訳入力機能

キー入力した日本語をかな漢字変換の感覚で英語に翻訳できるので、英文文書やメールが簡単に作成できます。インターネットの検索サイトでキーワードを入力する際に使用すれば、日本語入力力で英語キーワードを検索できます。

(5) ファイル翻訳

従来のテキスト形式、HTML、RTF形式に加え、

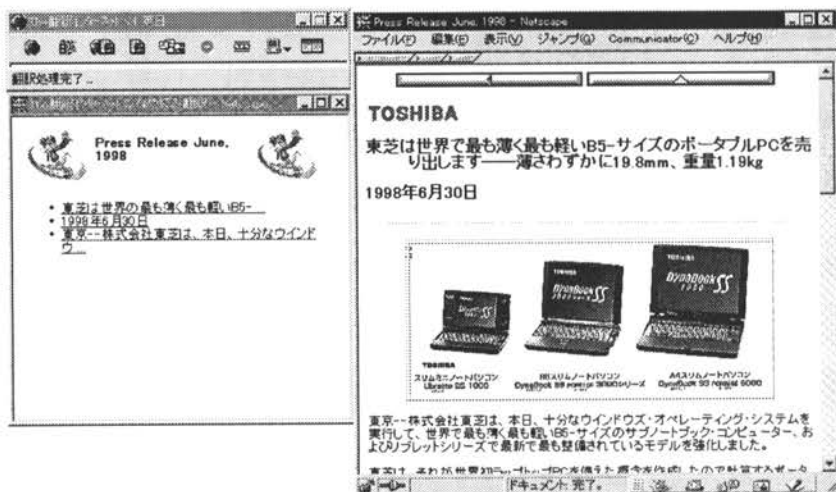


図1 ななめ読み翻訳

インターネット上の最新のデータ形式であるXMLやPDF形式のデータをそのまま翻訳できます。HTML、RTF形式の場合は原文のレイアウトを訳文に反映します。

(6) クイック／ワンタッチ翻訳機能

マウスカーソルで画面上の文字を指しただけで自動的に翻訳できるクイック翻訳や、文章をクリップボードにコピーしただけで手軽に翻訳できるワンタッチ翻訳を装備。インターネット以外のツールの文字列も簡単に翻訳できます。

(7) オートパイロット／キャッシュ翻訳機能

指定した時刻に指定したホームページにアクセスし、自動的にダウンロードしてから翻訳を行うオートパイロット機能と表示中のホームページをそのままダウンロードし、インターネットへの接続を切断してから翻訳を行えるキャッシュ翻訳機能を装備しています。これによりインターネットの通信費用を削減することができます。

3. 動作環境

ハードウェア：PC/AT 互換機、PC98シリーズ

CPU：Pentium 以上推奨

メモリ：32MB 以上推奨（Windows NTでは48MB以上）

ディスク：英日30MB、日英30MB、両方向60MB
ソフトウェア

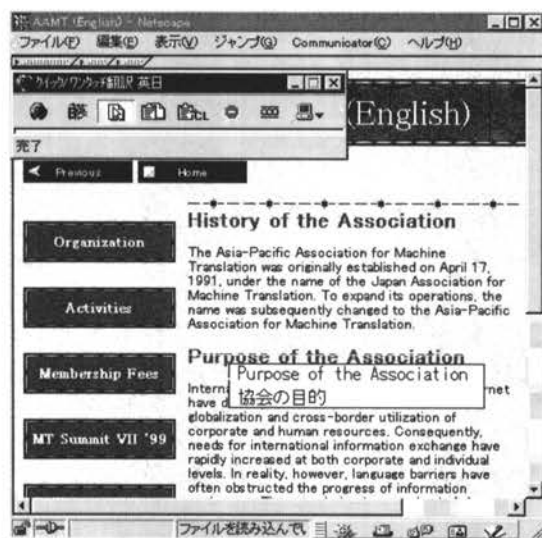


図2 クイック翻訳

OS：日本語 Windows95/98 日本語 Windows NT Server/Workstation4.0

ブラウザ翻訳：Netscape Navigator4.0～4.5, Microsoft Internet Explorer4.0/5.0

メール翻訳：Netscape Messenger4.0～4.5, Microsoft Outlook Express4.0/5.0, Microsoft Outlook98, Lotus Notes4.51～4.6

ニュース翻訳：Netscape Collabra4.0～4.5, Microsoft Outlook Express4.0/5.0

チャット翻訳：Netscape Conference Text Chat4.0～4.5, Microsoft NetMeeting2.0/2.1

参照可能な電子辞書：EPWING V2

その他：PDF形式データの翻訳には Adobe Systems 社製 Adobe Acrobat3.0J または4.0J が必要

その他：

インストール時には、CD-ROM 装置が必要となります。

対応ツールは全て日本語版のみとなります。SDK 等で改造したツール、β版、プレリリース版での動作は保証いたしません。

インターネット情報の翻訳には、インターネット接続用ソフトやモデム、プロバイダとの契約などインターネットに接続できる環境が必要です。

本商品には、ブラウザ・メーラ・チャットツールなどのインターネット接続用ソフトや機器は付属していません。

本製品の価格にはインターネット接続料金は含まれておりません。

本商品には、EPWING 辞書、Adobe Acrobat は付属しておりません。

Microsoft、Windows、Windows NT は米国マイクロソフト社の米国ならびにその他の地域における商標です。

本商品に記載の商品名は、一般に各社の商標・登録商標です。

お問い合わせ先

株式会社東芝 デジタルメディア機器社 コンピュータ・ネットワーク事業部03-3457-2725

製品情報 URL：

http://www.3.toshiba.co.jp/cn/3/products/hon_yaku

翻訳エンジンの改良・辞書の充実で精度がさらに UP
英日翻訳支援ソフト

「PowerE/J 翻訳これ一本! Ver.4.0」 「PowerE/J 翻訳プラス辞書これ一本! Ver.4.0」

シャープ株式会社

シャープは、翻訳エンジンの改良と、翻訳辞書の充実により、翻訳精度がさらにアップした英日翻訳支援ソフト「PowerE/J 翻訳これ一本! Ver.4.0」、
「PowerE/J 翻訳プラス辞書これ一本! Ver.4.0」を新発売いたしました。

本ソフトは、翻訳精度で定評のある当社の翻訳ソフト「PowerE/J」をさらにバージョンアップ。翻訳精度の向上を図るとともに、ホームページ、メール、英文 Word 文書の翻訳はもちろん、さまざまなアプリケーションで表示されている英文を簡単に辞書引き・翻訳できる「ここだけ翻訳」機能を搭載しました。

さらに、「PowerE/J 翻訳プラス辞書これ一本! Ver.4.0」には本格英和・和英辞典を搭載、英語学習や英作文に便利な機能も満載し、さまざまな用途にご活用いただけます。

《翻訳精度の更なる向上》

翻訳エンジンの改良により、タイトル部の訳出率や、辞書未登録語の訳出率が大幅アップ。経済分野対応をはじめとして基本辞書も大幅に改良。熟語や動詞句、複合名詞等の連語情報も強化しています。

(1) ヘッドライン翻訳の改良

ニュースは、ヘッドラインだけでも内容が分かるもの。省略などの特殊表現が多いタイトル部をさらに正確に翻訳できるようになりました。

＜翻訳例＞Calif. to Test Fuel Cell Autos

【V3.0】燃料電池自動車をテストするためのカリフォルニア

【V4.0】カリフォルニアは、燃料電池自動車をテストするであろう

ーご注意ー ヘッドライン翻訳規則は、タグ情報などを解析して、ニュース文と判定された場合にのみ適用されるため、1文だけで試すことはできません。

(2) 辞書未登録語の訳出率大幅 UP

派生語や合成語の処理を強化することによって、翻訳用辞書に登録されていない単語もうまく翻訳できるようになりました。

＜翻訳例＞analogousness

【V3.0】analogousness (辞書未登録のため翻訳されなかった)

【V4.0】類似性

※形容詞 analogous「類似している」+「ness」と判断 →自動造語処理「類似性」

(3) 連語の拡充

シャープヨーロッパ研究所(英国オックスフォード)との共同研究により、熟語や動詞句、複合名詞などの連語情報がますます豊富になりました。

＜翻訳例＞The export boom loses its steam.

【V3.0】エクスポートブームは、その蒸気を失う。

【V4.0】輸出ブームは、その力を失う。

《新機能》

(1) 訳したいところを「ここだけ翻訳」

英文 WWW ページや英文メール、英文 Word 文書などを見ているときに、わからないところだけを翻訳したり、難しい単語や連語の意味を調べることができます。ブラウザや Word、電子メールソフトなど、使用中のアプリケーション(※1)上で使えるので、いちいちアプリケーションを切り替える必要がなく便利です。



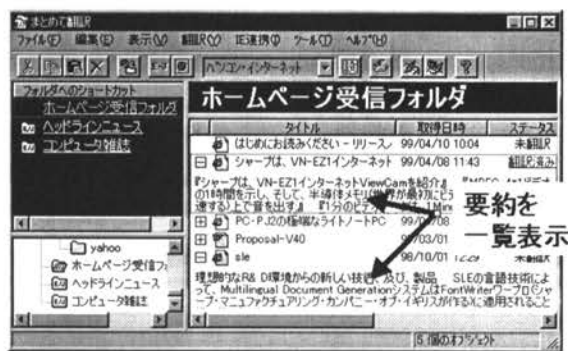
※1 各種アプリケーションに幅広く対応。

動作確認済アプリケーション：

Netscape Navigator3.0 [ja], Netscape Communicator 4.0/4.5/4.6 [ja], Microsoft® Internet Explorer3.0/4.0/5.0日本語版、Outlook Express, Outlook™97/98/2000, Access97, Word97/98/2000、メモ帳、Excel97/2000、Power Point97/2000、Becky Internet Mail1.25、AL-Mail32（データにより、一部翻訳できない場合があります）

※2 「翻訳プラス辞書これ一本！」のみ可能。「翻訳これ一本！」では訳語のみ表示されます。

（2）後から効率的に翻訳できる「まとめて翻訳」
英文 WWW ページをためておいて（※3）、後からまとめて翻訳（※4）。一括翻訳はもちろん日本語での要約（重要文）表示も可能。これで大量の情報も効率的に活用できます。



<Step 1－オンラインで英文ページの情報収集>



<Step 2－オフラインで翻訳、じっくり確認できる>

※3 ブラウザに追加される取り込みボタンをクリックするだけで見ているホームページを画像情報も含めてそのまま取り込みできます。Internet Explorer4.0/5.0の購読（お気に入りの同期）機能や他の巡回ソフトで取り込んでも OK です。

※4 英文 Word/テキスト文書も翻訳・管理できます。

（3）「お手軽ユーザ辞書」で翻訳精度を更に向上
ユーザが独自に使う語を自由にユーザ辞書に登録することができます。また、英語表現でそのまま訳語にしたい言葉を簡単に登録できるようになりました。日本語の文章をドラッグ&ドロップすれば、その中の英語表記の言葉が自動的に登録されます（シャープ独自）。英語表記が一般的な固有名詞（例：Visual Basic）などを的確に押さえることができるため、翻訳精度が向上します。

《その他の特長》

- （1）英文 WWW ページをレイアウトそのままに翻訳、重要文のみの要約翻訳も可能
- （2）受信した英文メールの自動翻訳（※5）
- （3）Microsoft® Word97/98/2000の英文も原文レイアウトを活かして翻訳
- （4）英語学習にも役立つ単語や連語への自動訳振り（※6）
- （5）日本語の質問に答えていくだけで簡単に英文メールを作成
- （6）学習研究社「英和辞典」「和英辞典」「国語辞典」「漢和辞典」も搭載
- （7）大修館書店「ジーニアス英和辞典」、小学館「プログレッシブ和英中辞典」も搭載、英作文に便利な「用例検索」機能で英単語の使い方も簡単にわかる（※6）

※5 Microsoft® Outlook Express、Microsoft® Outlook TM 97/98、Netscape Messenger、Eudora Pro、Becky など POP3 準拠の電子メールソフトに対応。

※6 （4）、（7）は『PowerEJ 翻訳プラス辞書これ一本！ Ver.4.0』（CE-S4 5EJ）のみの機能です。

《動作条件》

対応パソコン：下記のOSが動作し、CPUがPentium®プロセッサ以上のパソコン

OS：Microsoft®Windows®98/95またはMicrosoft®Windows NT®4.0 operating system(日本語版)

メモリ：32MB以上

ハードディスク：

＜翻訳これ一本！の場合＞空き容量48MB

＜翻訳プラス辞書これ一本！の場合＞空き容量43MB(最小)～121MB(最大)分割インストール可能

ディスプレイ：VGA(640×480ドット)以上の解像度をもつカラーディスプレイ

《PowerE/J シリーズに関するお問い合わせ先》

シャープ株式会社コンシューマセンター

西日本相談室 TEL (06) 6621-4649

東日本相談室 TEL (043) 297-4649

《PowerE/J 紹介ホームページ》

http://www.sharp.co.jp/sc/excite/soft_map/soft.htm

- ・ Microsoft、Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国とその他の国々における登録商標です。
- ・ 英文メール作成支援のデータは、(株) インターグループが開発した英文レターのテンプレートデータ及び英文レター作成ソフト「レターナビゲータ」に基づいており、著作権はインターグループ社にあります。
- ・ その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。



英日／日英双方向翻訳ソフト 「CROSSROAD Ver3.0」

NEC

1. はじめに

NECでは、1995年にWindows版翻訳ソフト「英日翻訳アダプタ」を発売以来、1996年には業界初の英日／日英双方向翻訳ソフトとして「翻訳アダプタII」、1997年にはインターネット対応で大幅に強化した「翻訳アダプタII CROSSROAD」を発売してまいりました。発売以来ご好評をいただき、おかげさまで昨年には「翻訳アダプタシリーズ」の総出荷数が200万本(*)を超えました。

今回、「翻訳アダプタII CROSSROAD」をさらに強化し、後継製品として名前も新たに「CROSSROAD Ver3.0」を発売することになりました。

(*) パソコンプリインストールを含む。

2. 「CROSSROAD Ver3.0」の概要

「CROSSROAD Ver3.0」では、英日／日英各翻訳辞書を強化し、それぞれ12万語としました。加えて日英では固有名詞辞書6万語と会話用語辞書600語を標準添付しました。

また、日本語音声認識機能、英語音声合成機能を搭載し、業界初の日本語音声認識→日英機械翻訳→英語音声合成のシームレスな連携を実現しました。

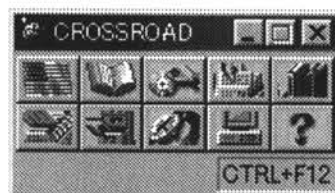
さらに、ユーザインターフェイスも一新し、マウスを置くだけの「簡単辞書検索」機能、指定されたフォルダ配下のファイルすべてを翻訳する「フォルダ翻訳」機能など、より一層の操作性向上をはかりました。

その他辞書関係においては、ユーザ辞書、ホームページから提供するNEC最新用語辞書、豊富な専門用語辞書（オプション）を効果的にご利用になれるように、辞書を6個まで（基本辞書含まず）設定可能にしました。また「翻訳ソフト共通仕様ユーザ辞書コンバータ」も搭載しておりますので、従来の資産を無駄にせず有効利用が可能です。

3. 新機能のご紹介

3-1. デザイン一新のユーザインターフェイス

「翻訳アダプタII CROSSROAD」でおなじみのシステムボタンや翻訳BOXなどを、操作方法是継承しながら、よりわかりやすいデザインに一新しました。



システムボタン

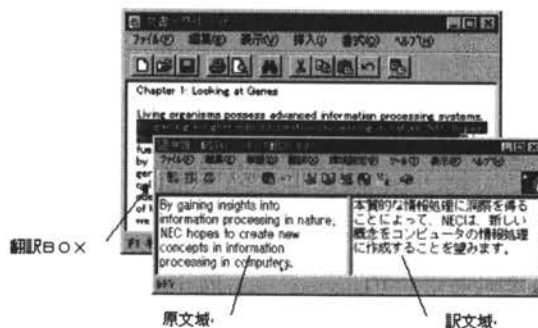


図1 翻訳画面

3-2. 日本語音声認識と英語音声合成との連携

NEC「SmartVoice」日本語音声認識エンジンとLernout & Hauspie Speech Products N.V.社「TTS3000/M」英語音声合成エンジンを搭載しました。これらと日英翻訳機能と組み合わせることで、マイクに向かって日本語で話すと、自動的に翻訳された結果の英文をスピーカから聞くことができます。

<注意事項>

音声認識を利用するには、別途マイクをご用意ください。ヘッドセットマイク（NEC PK-SU003）推奨。使用環境、語彙、発声のしかた、発声のスピードなどによっては、音声十分に認識されない場合があ

ります。

事前にお客様の声をお使いのパソコンに登録していただく必要があります。少なくとも5文(50文以上を推奨)を発声してください。

3-3. マウスを置くだけの簡単辞書検索

ロジカルテック社「LT-CAT'S EYE PRO」辞書検索エンジンを搭載していますので、マウスカーソルを置くだけ(クリック不要)で、対象語を判別して辞書検索することができます。

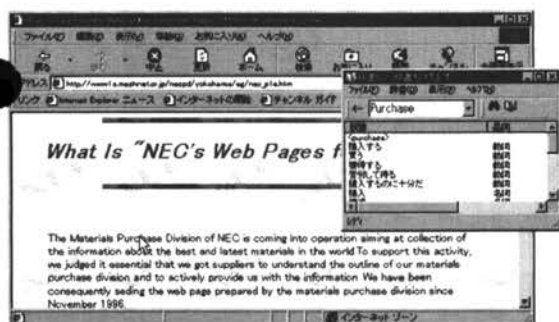


図2 簡単辞書検索

3-4. 最新ブラウザにも対応したブラウザ翻訳

最新ブラウザ Internet Explorer5.0, Netscape Navigator4.6に対応しています。



図3 ブラウザ翻訳

4. 機能仕様

ブラウザ翻訳 : Microsoft® Internet Explorer, Netscape Navigator に対応

キャッシュ翻訳 : 上記ブラウザのキャッシュデータ、The PointCast Network のチャンネルビューアの保存記事データに対応

ファイル翻訳 : MS-DOS テキスト、Microsoft®

Wordのファイル(doc)、Microsoft® PowerPoint® のファイル(ppt)、Microsoft® Excel のファイル、HTML ファイル(htm)、リッチテキスト(rtf)、ヘルプファイル(hlp)、ライト文書(wrt) に対応

フォルダ翻訳 : 対象ファイルはファイル翻訳と同様

タイマー翻訳 : 指定時刻にキャッシュ翻訳、自動巡回翻訳、一括翻訳の翻訳処理可能。指定日・毎週・毎日および開始時間の指定可能。

例文検索機能 : 高速全文検索エンジン搭載

CD-ROM 検索機能 : EPWING 規約2版の一部に対応

基本辞書 : 日英12万語英日12万語

日英固有名詞辞書 : 6万語

日英会話用語辞書 : 600語

専門用語辞書 : 31分野60万語(オプション)

ユーザ辞書登録 : 登録語数無制限(動詞登録も可能)

日英対象例文 : 約2万文

E-mail サンプル集 : 基本書式約150書式。基本例文約1000文。

日本語音声認識エンジン : NEC「SmartVoice」

英語音声合成エンジン : Lernout & Hauspie Speech Products N.V.社「TTS3000 /M」

辞書検索エンジン : ロジカルテック社「LT-CAT'S EYE PRO」

5. 動作環境

基本装置 : Microsoft® Windows® 95/98およびWindowsNT4.0日本語版が動作する機種

(音声認識にはマイクが必要)

CPU : Pentium90MHz 以上推奨(音声認識には PentiumII266MHz 以上)

解像度 : 640×480ドット以上推奨

メモリ容量 : 32M バイト以上推奨

(音声認識には64M バイト以上)

ディスク容量 : 180MB (モジュール分割・選択インストール可)

媒体 : CD-ROM のみ
価格 : 12,000円 (税別)

TEL : 03-3456-8343
FAX : 03-3456-6348
E-mail : meshplus@mis.mms.mt.nec.co.jp
URL : http://meshplus.mesh.ne.jp/
TEL 受付時間 : 10:00~12:00
13:00~17:00
(土、日、祝日を除く)

6. お問い合わせ先

「NEC meshPLUS サポート窓口」

東京都港区芝浦4丁目14-22 (NEC 大東田町ビル)
NEC フロントオフィスシステム事業部

事務局だより

役員の紹介

第9回通常総会終了時における AAMT の理事、監事の方々は次のとおりですのでお知らせいたします。
(任期は後半のあと1年)

(1999年6月現在、敬称略、順不同)

会 長	田中穂積	東京工業大学大学院 情報理工学研究科 教授
副会長	小谷泰造	株式会社インターグループ 代表取締役
〃	辻井潤一	東京大学大学院 理学系研究科 情報科学専攻 教授
〃	丸山 武	富士通株式会社 代表取締役副社長
理 事	長尾 真	京都大学 総長
〃	吉川英一	日本電気株式会社 常務取締役
〃	浅田 篤	シャープ株式会社 常任顧問
〃	岡村 正	株式会社東芝 取締役上席常務
〃	小高俊彦	株式会社日立製作所 専務取締役
〃	三木弼一	松下電器産業株式会社 取締役
〃	牛尾真太郎	沖電気工業株式会社 常務取締役
〃	田中達雄	社団法人 日本電子工業振興協会 専務理事
〃	野村浩郷	九州工業大学情報工学部 知能情報工学教室 教授
〃	石崎 俊	慶応義塾大学 環境情報学部 教授
監 事	佐藤清俊	社団法人 日本電子工業振興協会 常任理事
〃	勝田美保子	株式会社十印 代表取締役

協会活動報告

(1999年4月～6月)

第9回通常総会	6月18日	①'98年度事業報告 ②'98年度決算報告 ③'99年度事業計画 ④'99年度予算 ⑤理事交替
成果報告会	6月18日	①技術動向調査委員会 ②市場動向調査委員会 ③ネットワーク翻訳研究会 ④MT Summit VII プログラム委員会
講演会	6月18日	「最新シンガポールの紹介」 シンガポール政府観光局森田勝則氏
理事会	5月27日	①'98年度事業報告案 ②'98年度決算報告案 ③理事交替、その他
会計監査会	4月27日	1998年度の会計監査
運営委員会	5月13日	①'98年度事業報告案 ②'98年度決算報告案 ③第9回通常総会企画 ④シンガポールサミット、他
市場動向調査委員会	4月16日	①MT 市場調査 ②MT 白書への協力 ③シンガポールサミット ④本年度の AAMT 事業計画、その他
	5月28日	①MT 市場調査プロバイダーアンケートの分析 ②専門家インタビュー計画 ③MT 白書 ④シンガポールサミット ⑤成果報告会準備
	6月25日	①MT 市場調査インタビュー計画 ②MT 白書 ③シンガポールサミット
技術動向調査委員会	4月16日	①MT 市場調査 ②MT 白書への協力 ③シンガポールサミット ④本年度の AAMT 事業計画、その他
	5月28日	①MT 市場調査プロバイダーアンケートの分析 ②専門家インタビュー計画 ③MT 白書 ④シンガポールサミット ⑤成果報告会準備
	6月25日	①MT 市場調査インタビュー計画 ②MT 白書 ③シンガポールサミット
ネットワーク翻訳研究会	4月2日	①本年度の研究活動の進め方 ②対訳データ評価 ③インターネット機械翻訳の評価 ④シンガポールサミットへの論文応募 ⑤MT 白書
	5月14日	①対訳データおよびインターネット機械翻訳の評価 ②シンガポールサミット ③成果報告会、他
	6月29日	①ヒアリング XML について IBM、浦本直彦氏 ②シンガポールサミット ③MT 白書、他
機械翻訳白書WG	6月14日	①MT 白書の企画、目次の構成 ②各章の分担 ③専門機関とのタイアップ
MT Summit VII 実行委員会	4月5日	シンガポール LOC との打合せ Dr. Low, Ms. Victorine Chen-Toh
	5月18日	①シンガポールサミット企画状況 ②田中会長のシンガポール訪問計画とこれからの進め方

AAMT
ジャーナル

No. 27
(Aug. 1999)

発 行	アジア太平洋機械翻訳協会
所 在 地	〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 芝公園真田ビル TEL : 03-5473-7135 FAX : 03-5473-0569 E-mail : aamt 0001@infotokyo.ne.jp ホームページ : http://www.jeida.or.jp/aamt/
編集委員会	野村浩郎(委員長) 大倉清司 奥西稔幸 山端 浩 熊野 明
事 務 局	村田勇造 中島泰雄 高田佳代子
印 刷 所	伸光写植印刷株式会社

